施工説明書

INAX

ビルトイン浄水器
浄水器用シングルレバー混合水栓

KS-460SX

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●安全上のご注意

お客さまへお願い

●この説明書は水道工事店など専門の工事店の工事を必要とする「ビルトイン型浄水器」の取付けについて説明しています。

●取付工事は必ず工事店に依頼してください。ご不明点がありましたら工事店または、当社支社やお客さま相談室までお問い合わせください。

●取扱説明書はお読みになった後、お使いになる方がいつでも見れるところに必ず保管してください。

取付工事店の方にお願い

●ここに示した〔⚠警告・注意〕は状況により重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

●取付工事は、水道法、建築基準法、その他の法令および地方自治体の条例、規則など各種法規にしたがって行ってください。

●工事または取扱いにあたって、ご不明点がありましたら、当社支社やお客さま相談室までお問い合わせください。

⚠ 警 告

●水道水の水質基準に適合した水以外には取り付けないでください。

⚠ 注 意

取付工事の前に

●給水圧力は0.05～0.75MPa {0.5～7.6kgf/㎠} です。
給水圧力が0.75MPa {7.6kgf/㎠} を越える場合は、市販の減圧弁などで適正圧力(0.20～0.39MPa {2～4kgf/㎠} 程度)に減圧してください。

●本商品は日本水道協会の型式登録品ですので必ず同梱の浄水器本体、水栓、設置部材をセットでご使用ください。

●取付カウンターが厚い場合や、大理石などの特殊な材料を使っている場合は取り付けできない場合があります。また穴あけなどの加工は十分注意して行ってください。

●凍結の恐れがある場所では使用しないでください。

取付けに際して

●同梱の部品以外は使用しないでください。

●湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

●接続ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。

●浄水器本体は分解しないでください。

●各接続部は、水漏れのないように確実に接続してください。

●水栓先端には他の器具を接続しないでください。

取り付けた後で

●最終点検時は配管接続部の水漏れ点検を十分に行ってください。

●作業完了後、この説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れて必ずお客さまにお渡しください。

●使用条件

●給水・給湯圧力は以下の条件を守ってください。

〔ガス給湯器(比例制御式:16号相当)と組み合せる場合〕

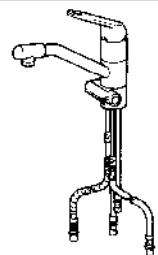
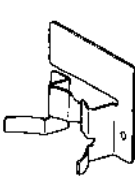
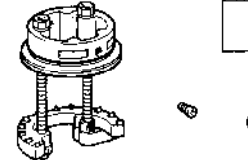
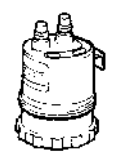
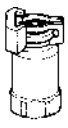
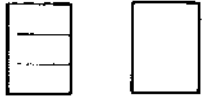
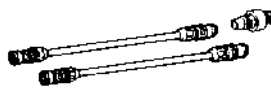
給水圧力
- 最低必要圧力……A+0.04MPa {0.4kgf/㎠}
- 最高圧力…………0.75MPa {7.6kgf/㎠}

Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

•測定条件
※レバーハンドルは全開です。
※ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期条件(給水温度5℃、吐出温度42℃)によるものです。
※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
※ガス給湯器の温度調節は最高温設定です。

〔貯湯式湯水器と組み合わせる場合〕

給水・給湯圧力
- 最低必要圧力……0.05MPa {0.5kgf/㎠}
- 最高圧力…………0.75MPa {7.6kgf/㎠}

•温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。

●給湯には蒸気は使用できません。

●施工前のご注意

●施工を始める前に、お買い求めいただいた箱の中身を下記部品梱包明細表で確認してください。

●保証書には、店名および取付日を必ず記入してください。

●施工に必要な工具(プラスドライバー、スパナ(対辺8))を用意してください。

●開梱、施工の際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。

●必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

●給水水温は35℃以下でご使用ください。
※35℃以上ですと浄水器の機能が十分発揮されません。

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
※逆配管では浄水器に湯が流れ破損の原因になります。

●給湯管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。

●施工後の保守点検のために必ず止水栓(別売)を設けてください。

●カウンター裏面の補強板は珪酸カルシウム板以外の材料としてください。
※本体固定不良の原因となります。裏面の補強板は、木質系のボードとしてください。

●部品梱包明細表

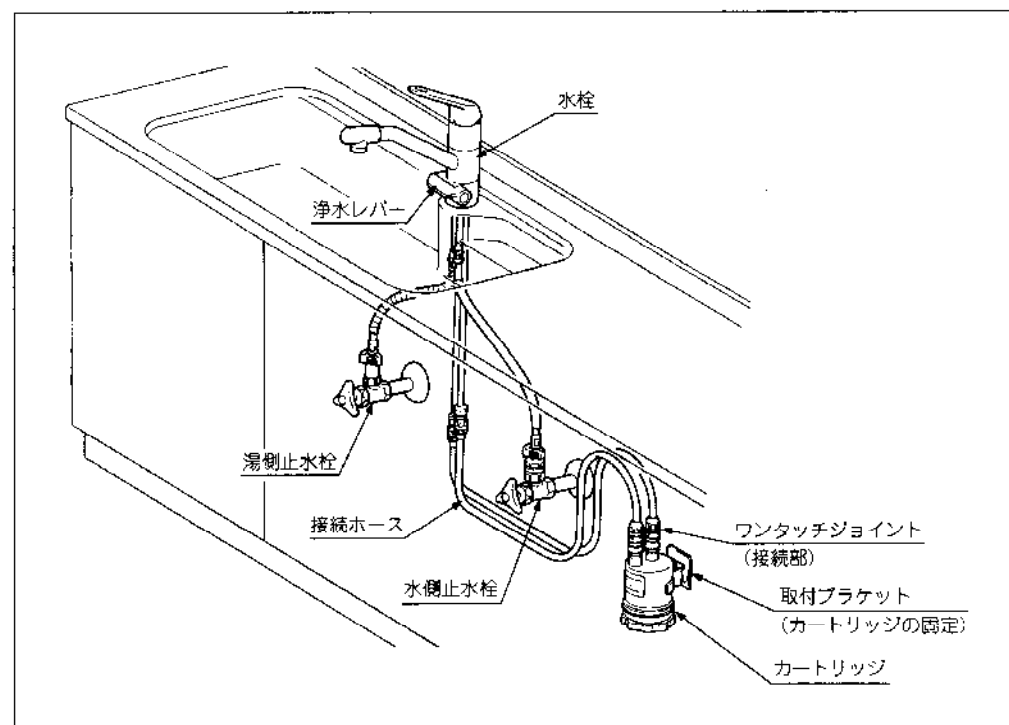
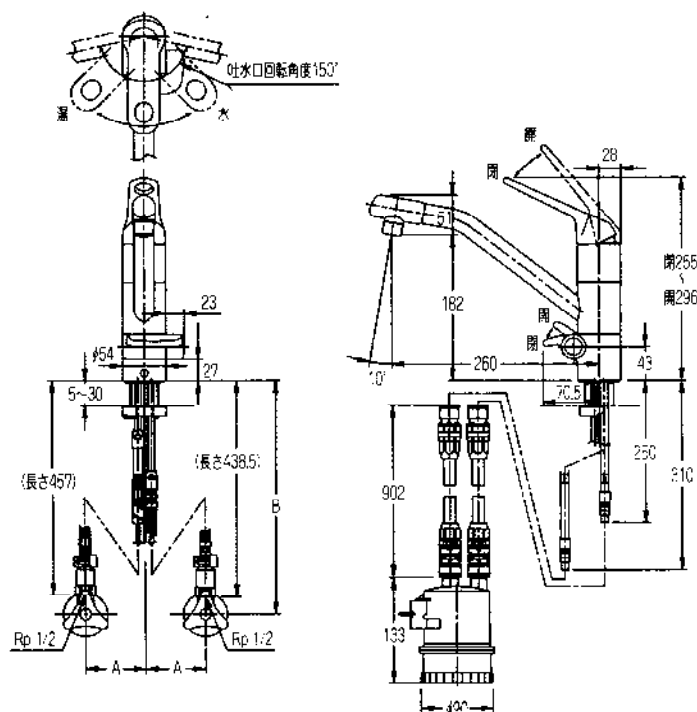
下記の部品がすべてそろっていることを確認してください。

部品名	数量	部品名	数量
混合水栓	1コ	取付ブラケット	1コ
上部施工金具	1式	カートリッジ	1コ
施工説明書 (品番:A-2145-10)		単3マンガン乾電池	1本
水側逆止弁ソケット	1コ	タッピンネジ	2本
パッキン	1コ		
湯側逆止弁ソケット	1コ	取扱説明書 施工説明書(本書)	
パッキン	1コ		
接続ホース	2本	ラベル	2枚

●施工完了図

株式会社INAX

本社	☎0569-35-2700	北海道支社	☎011-271-1713	東北支社	☎022-301-1701	首都圏統括支社	☎03-5541-7111
関東支社	☎048-668-1177	甲信支社	☎0263-36-2166	中部統括支社	☎052-201-1717	北陸支社	☎076-264-1710
関西統括支社	☎ 06-539-3500	中国支社	☎082-223-1710	四国支社	☎087-821-1701	九州支社	☎092-282-3154

●商品図

KS-460SX

※カウンター穴あけ寸法はϕ37±2で行ってください。カウンター厚は5～30mm。
※Aは50$\pm^{50}_{10}$、Bは350$\pm^{80}_{0}$にしてください。

●施工方法

⚠ 注　意

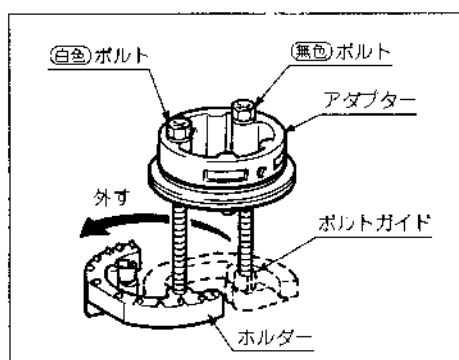
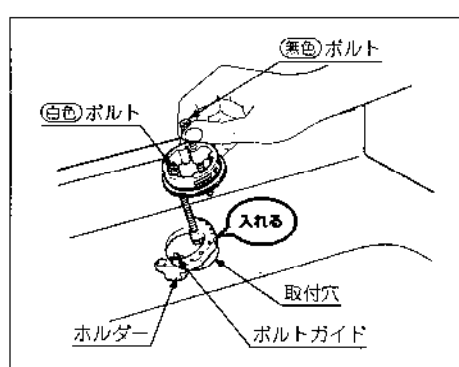
- ●同梱の部品以外は使用しないでください。
- ●各接続部は水漏れのないように確実に接続してください。

以下の手順で正しく取り付けてください。

1. 上部施工金具の取付け

上部施工金具に同梱の**「クイックワン施工」**説明書に従い、正しく取り付けてください。

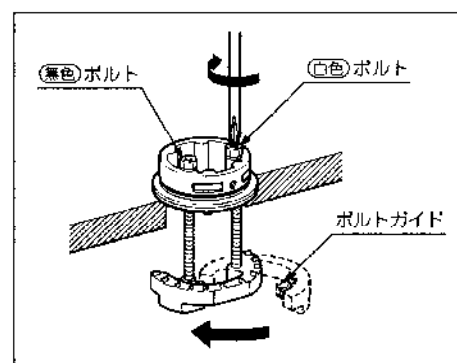
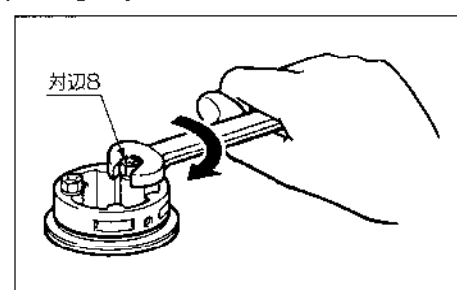
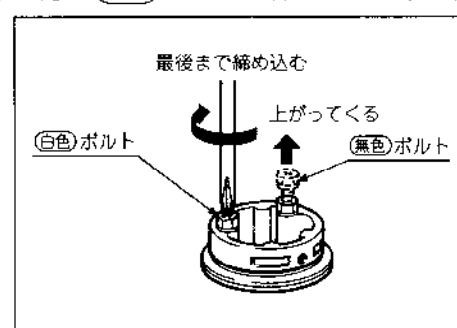
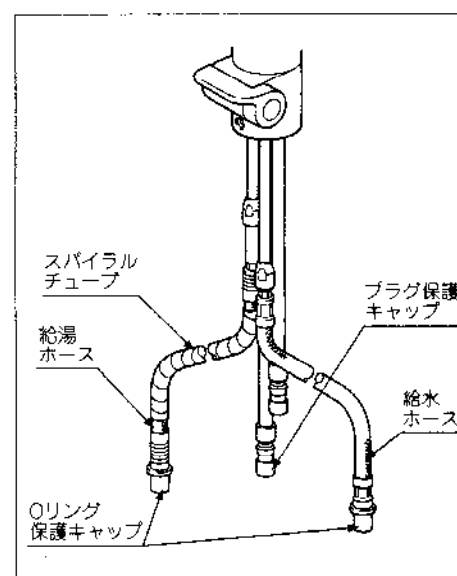
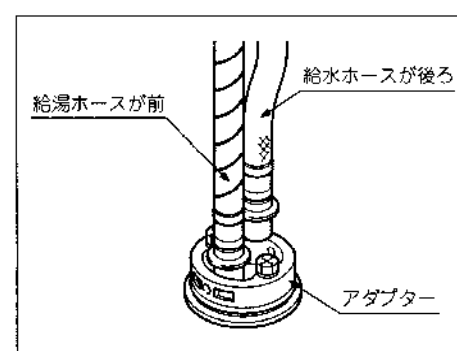
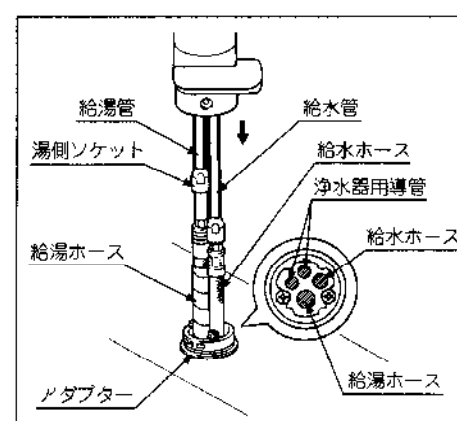
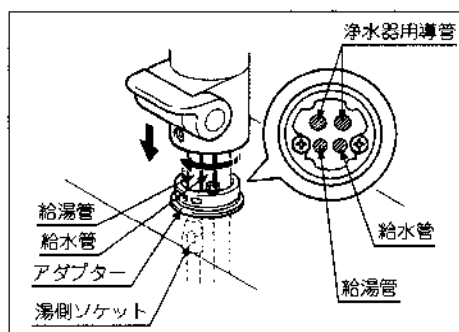
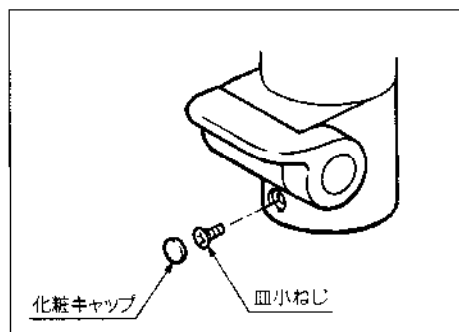
※上部施工金具を正しく取り付けないと、水栓本体の固定強度が低下するなど、不具合の原因となります。

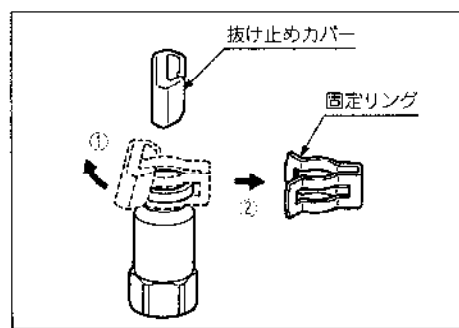
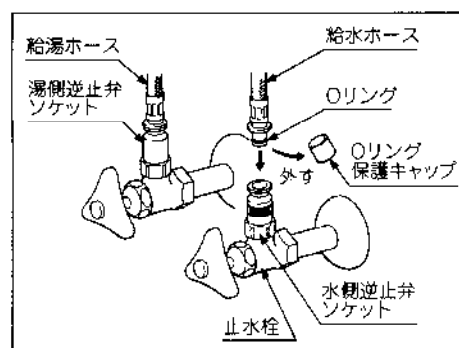
(1)(無色)ボルトをボルトガイドから外し、ホルダーおよび各ボルトの先端をカウンターの取付穴に挿入します。
※ボルトの頭が白いのが(白色)ボルト、色なしが(無色)ボルトになります。

※(無色)ボルトが取付穴に干渉するときは、(無色)ボルトを途中まで引き出してください。
((無色)ボルトは、アダプターから抜き取らないでください。)

(2)アダプターの[青色]印が前方にくるようにし、ねじ穴が前面を向くように位置決めします。
※アダプターガイド4本が取付穴に確実に入っていることを確認してください。
※[青色]の印を前方にしないと水栓本体が取り付けられません。

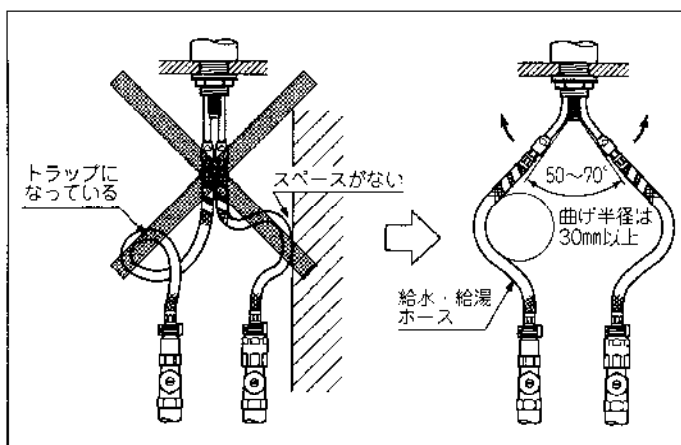
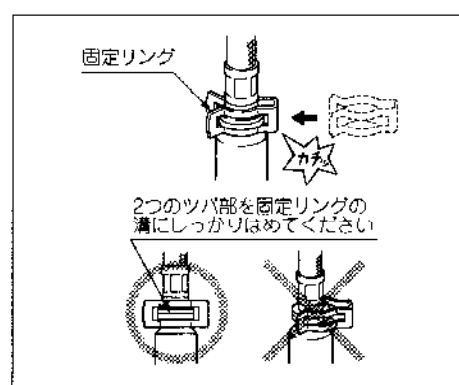
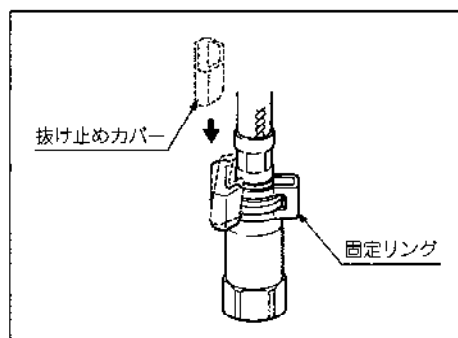
(3)アダプターを手で押さえながらプラスドライバーで(白色)ボルトを**ゆっくり**1～2回転程度締めます。
※(白色)ボルトを回すと、ホルダーが連動して回り始め、ボルトガイドが(無色)ボルトに装着されます。
※ホルダーがカウンター裏面の壁にぶつかる等ホルダーが連動せず空回りするときは、カウンター裏面の空いたスペースで指でホルダーを回し、ボルトガイドを(無色)ボルトに装着してから、再び(白色)ボルトを締めてください。

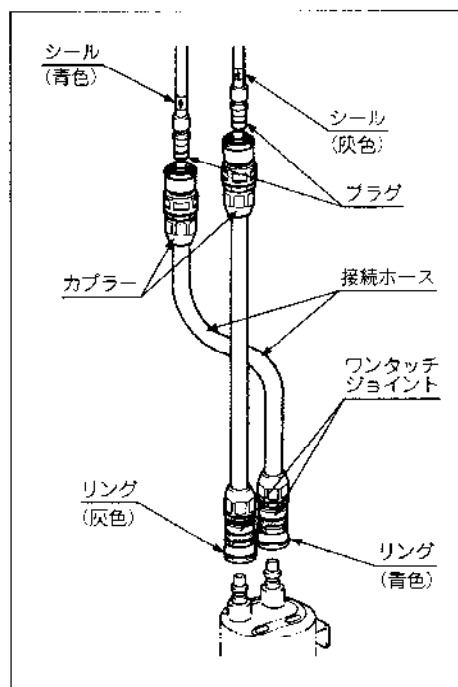
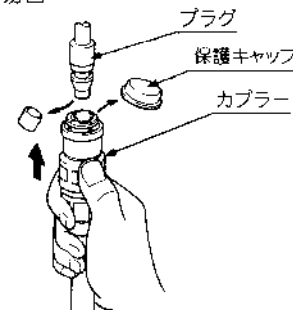
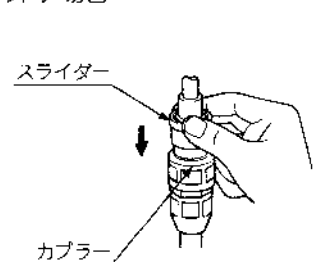
(4)アダプターを手で押さえながらプラスドライバーで(白色)**ボルトを最後まで締め込みます。**
※(無色)ボルトが上がってきますので、ご注意ください。
(5)プラスドライバーで(無色)ボルトを最後まで締め込みます。
(6)各ボルトを交互に締め付け、しっかりと固定します。
※ボルトの締付力が均等になるようにしてください。

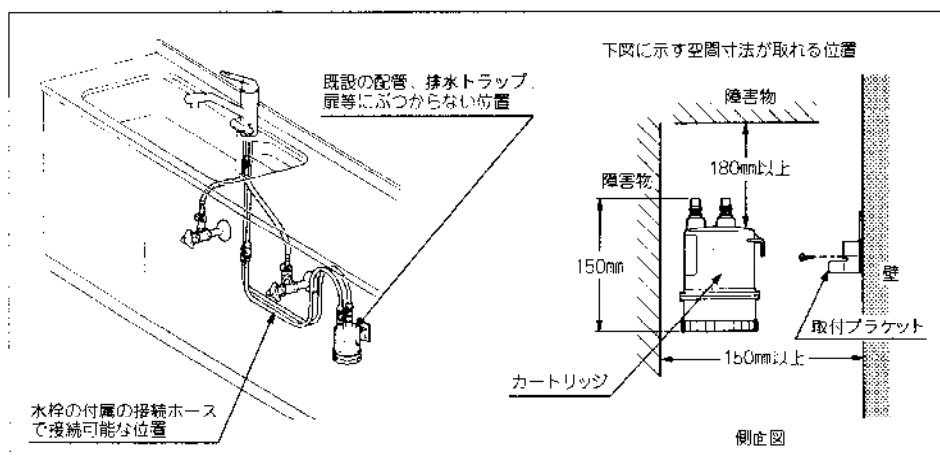
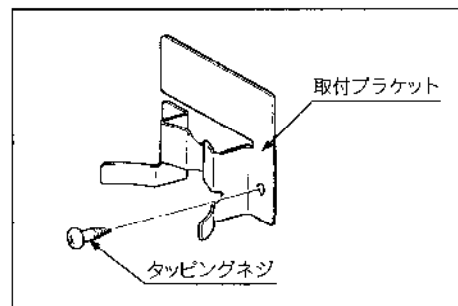
(7)スパナ(対辺8)等で各ボルトをそれぞれ1/2回転程度増し締めします。
※締め付け過ぎないでください。ボルトが破損する恐れがあります。
※アダプターのぐらつきがないことを確認してください。

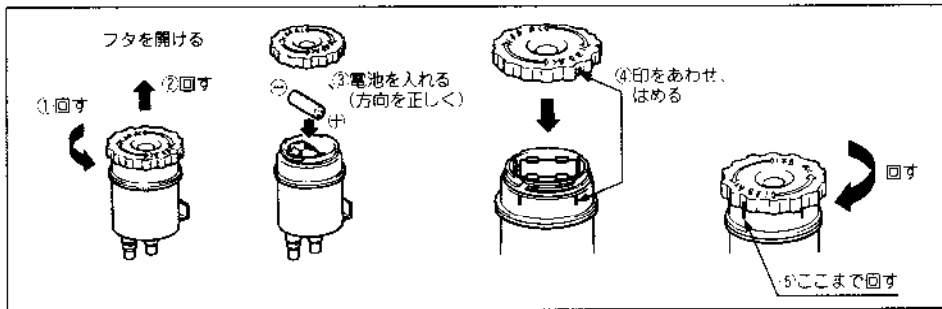
2. 水栓本体の取付け

※Oリング保護キャップおよびプラグ保護キャップは逆止弁ソケットおよびカプラーと接続するまで取り外さないでください。
※スパイラルチューブはホースを保護するために付いています。取付後も外さないでください。

(1)フレキホースをアダプターに挿入の際は、給湯ホースを前、給水ホースを後ろに縦並びにして挿入します。
※給水・給湯ホースの前後が逆だと取り付けできません。

(2)湯側ソケットがアダプターに完全に挿入されるまでは、図のように給湯ホースが前側になるように本体を挿入します。

(3)湯側ソケットがアダプターに完全に挿入されたら、本体を正規の位置に戻し、アダプターに装着します。
※湯側ソケットがアダプターに完全に挿入される前に本体を無理に回転させると、給水・給湯管等が破損し、漏水の原因となります。

(4)水栓本体をアダプターに皿小ねじでしっかりと固定します。
※水栓本体とアダプターのねじ穴がずれている場合は、水栓本体を左右に回転させてねじ穴を合わせてください。
※水栓全体にガタつきがないことを確認してください。
(5)水栓本体に化粧キャップを取り付けます。
※表裏に注意して取り付けてください。(裏には「ウラ」の表示がしてあります。)

3. 逆止弁ソケットと止水栓の接続

(1)抜け止めカバー、固定リングの順に取り外します。

(2)逆止弁ソケットを止水栓に固定します。
※逆止弁ソケットは湯水所定のソケットを取り付けてください。逆に取り付けると故障の原因になります。

4. 給水・給湯ホースと逆止弁ソケットの接続

(1)給水・給湯ホースのOリング保護キャップを取り外し、逆止弁ソケットに差し込みます。
※Oリングに傷をつけたり、ゴミかみをさせないように注意してください。漏水の原因になります。
※給水・給湯ホースを曲げる場合は、曲げ半径を30mm以上確保してください。無理に曲げるとホースが損傷し、漏水の原因となります。
※フレキホースの長さが余り、ホースが無理に曲がるなどの不具合を生じるときは、水栓の銅管を曲げ、ホースの曲がり方を調節してください。

(2)固定リングを給水・給湯ホースと逆止弁ソケットの接続部(ツバ部)にはめ込みます。
※しっかり取り付けないと漏水の原因となりますので、確実にはめ込んでください。
※給水・給湯ホースを上に引き、確実に接続されていることを確認してください。

(3)抜け止めカバーを固定リングにはめ込みます。
※固定リングが外れると漏水の原因となりますので、必ずしっかりとはめ込んでください。
※直接固定リングに手を触れるとケガする恐れがあります。
抜け止めカバーを必ずはめたままにしてください。

5. 給水・給湯ホースと接続ホースの接続

2本の接続ホースを水栓の給水・給湯ホースに張ってあるシールの色とワンタッチジョイントのリングの色を合わせて接続します。
※接続ホースの先は水栓接続側、浄水器接続側が決められています。間違っていると接続できません。正しく取り付けてください。
(1)水栓取付側のカプラーの保護キャップを外し、プラグに「カチッ」と音のするまでしっかりと差し込みます。
※各接続ホースにねじれがなく、各接続ホースを引っ張っても外れないことを確認してください。
※取り外すときは、スライダーを下げながらカプラーを下に引っ張ってください。

(2)水栓の給水・給湯ホースに張ってあるシールの色とワンタッチジョイントのリングの色が同じになっていることを確認します。
※正しく取り付けられていないと、浄水器が正常に機能しません。

6. カートリッジの取付け

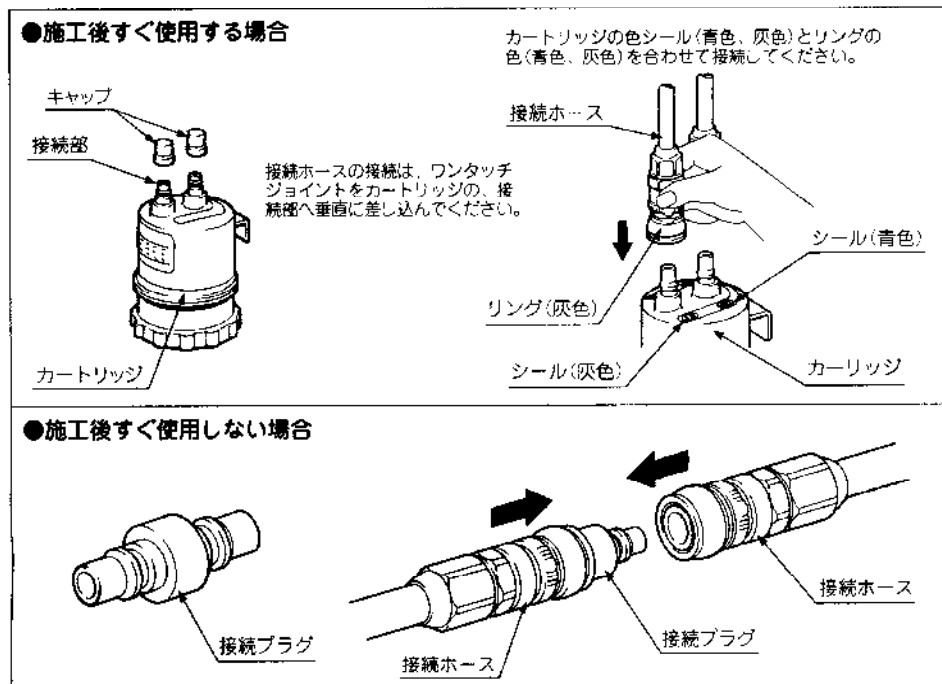
(1)位置決め
次の項目を確認のうえ、正しく取付位置を決めます。

(2)取付ブラケットの取付け
付属のタッピングネジで所定の位置に取付ブラケットを固定します。
※取付面の木板の厚みが薄い場合、補強木を使用してください。
(タッピングネジの長さ：14mm)

(3)乾電池の装着

付属の単3マンガン乾電池1本を、カートリッジの底面のケース内へセットします。

7. カートリッジの配管接続

(1)接続ホースとカートリッジの接続

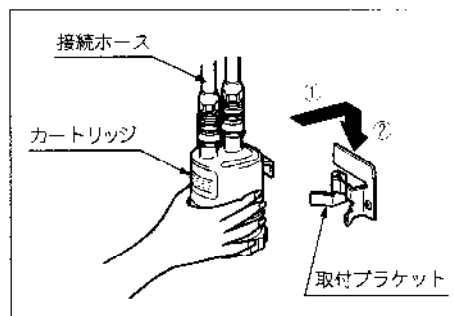
カートリッジの接続部のキャップを外します。

水栓からの接続ホースをカートリッジと接続します。

※お客さまが施工後すぐ使用しない場合は、接続ホースを付属の接続プラグに接続してください。（カートリッジのキャップは取り外さないでください。）

(2)カートリッジの固定

カートリッジを取付ブラケットへ取り付けます。

※このとき、接続ホースが折れ曲がったりねじれたりしないように注意してください。

※接続ホースの始末が悪いときは、結束バンド（現場手配）で固定してください。ただし、結束バンドの締付け過ぎや結束バンドを外せない位置での結束はおやめください。

●施工後の調節

1. 通水、水漏れ確認

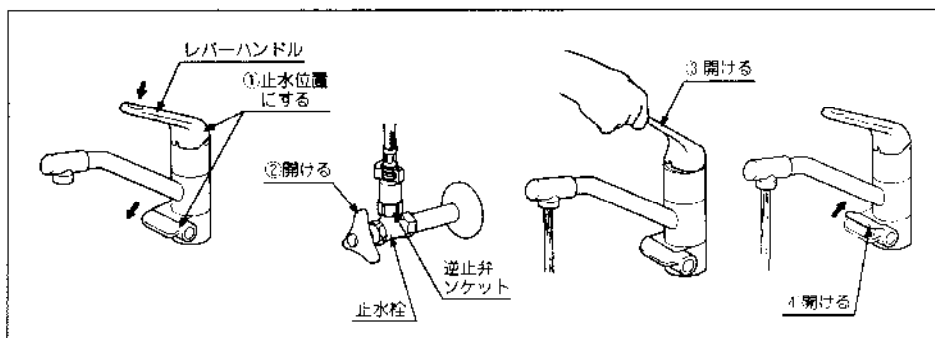
以下の手順で通水作業をし、水漏れのないことを確認してください。

(1)水栓のレバーハンドルおよび浄水レバーとも止水の位置にあることを確認します。

(2)水側・湯側止水栓を開け、レバーハンドルを先に開けて通水し配管内のゴミなどを出します。

(3)浄水レバーを操作して、浄水を1分間出し、各接続部から水漏れがないことを確認します。

⚠ 注 意

●配管接続部の水漏れ点検を十分に行ってください。

2. 流量調節〔標準浄水吐水量調節〕

(1)浄水吐水量が適正流量となるように、水側の止水栓を調節します。

※浄水レバーをいっぱいに開けたとき、5L/分程度流れるくらいに調節してください。（目安は約3秒でコップ1杯になる程度）

(2)浄水レバーを閉じ、レバーハンドルを開け湯と水の吐出量が同じになるように湯側の止水栓も調節します。

●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

※この商品は、水を急に止めるときに発生する配管への衝撃をやわらげる機能が付いています。

このため急に閉めようとするとハンドルが重く感じることがありますが故障ではありません。

ハンドルが重くならないように、ゆっくりと閉めてください。

●故障と点検

※点検箇所は下図を参照してください。

現象	点検内容	点検箇所	処置
流量が少ない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を取り除く。
	止水栓は十分開いているか？		止水栓を十分開く。
	整流網にゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
	接続ホースが折れ曲がったり、ねじれたりしていないか？	⑦	ホースの折れ曲がり、ねじれがあれば取り除く。
流量が多すぎる	止水栓は調節されているか？		「流量調節」の項参照。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	②⑤	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？	②⑤	キズがあれば部品を交換する。
	ゆるみはないか？	③	カートリッジ止めねじを締める。締め過ぎるとレバーハンドルが重くなることがありますので注意してください。
接続部から漏水する	接続部にキズ、ゴミかみはないか？	⑥	キズがあれば部品を交換する。ゴミ等があれば水で洗い流す。
希望の温度が得られない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	流量調節はよいか？		「流量調節」の項参照。
	整流網にゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
レバーハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	④	ねじをしっかりと締める。

⚠ 注 意

●施工完了後、この説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れて必ずお客さまにお渡しください。